

【温海地域】温海地域自然資源を活かした教育環境整備による定住促進事業 【事業年度：R2～】

取組みの背景や経緯

■取組の背景

温海地域は、少子化過疎化が急速に進み、将来の地域を担う人材の減少と地域活力の低下が大きな課題となっている。この負のスパイラルから脱するため、若い世代の定住を図り、優れた人材を育成、確保するためには、子育て世代に選ばれる魅力ある教育環境整備が必要であった。

■取組みの経緯

これからのAI時代を生き抜くために、次世代教育と言われている「非認知能力を高める教育」であるSEL（Social Emotional Learning：社会的能力と気持ちに関わる能力を高める教育）を温海地域の教育の特色とするため、関係機関と連携し、脳が柔軟で急速に発達する幼児期から途切れることなく小中学校教育に繋げ一貫して取り組むこととした。R2年度から外部講師を招き保育士研修から事業を開始した。

事業概要

連携体制 あつみ福祉会（温海地域保育園運営主体）・SEL教育アドバイザー
市教育委員会・温海地域小中学校・温海庁舎

■温海地域保育園実施事業

保育士研修（R2年度4回、R3年度1回）

3保育園年長児交流事業「福栄の日」：R3年度～（年4回）

3保育園個別訪問指導：R3年度～

■温海地域小中学校実施事業

校長・教頭・教務合同研修、総合的な学習担当者ワークショップ（R3年度）

教職員対象SEL研修：R4年度～

事業効果と今後の展望

■事業効果

保育園では、日常保育にSELを取り入れ、子どもの気持ちに寄り添った指導を行っている。また、子どもたちも日々実施しているアクティビティ（EQチェックイン）等により自分の気持ちに向き合い、気持ちの変化を体感し、友だちの気持ちを知るなどの学びを実践している。

小中学校においては、教職員対象の研修を実施し、学校教育へのSELの導入について、年次的な計画を建て取り組むことが決まった。

■今後の展望

SELを保育園から学校教育に連結させ小中学校への導入に向け、教職員対象研修会を継続する。家庭や地域からの理解・協力を得るために情報発信を行う。

特色ある教育を情報発信することで、温海地域で子育てすることの価値を高め、温海地域への交流人口・関係人口の増加と、定住人口・移住者の増加へ結びつける。

